

復興祈念コンサート 『明日への架け橋』

スイスで音楽活動をしている二人の音楽家による復興支援コンサートで、音楽の持つ力によって励まし、希望を持ってもらう。という願いを込めて「明日への架け橋」というサブタイトルで演奏会を行いました。当日は久慈市や野田村、地元仮設に住まわれている方々など、不便な時間帯でしたが多くの方に集まっていただきました。

伊藤英(スグル)さんのピアノ演奏では通りかかった人が思わず振り返っていたのが印象的でした。聞こえてくる音色があのかのピアノからだったのですから。演奏会場が、大槌のマスト・センターコートで行われていましたから、買い物帰りの方も足を止めて結局最後まで聞いていた方もいました。メゾソプラノの中野和子さんは彼女が学生時代からの音楽仲間で、会うたびに歌が上手くなっています。ここで上手いという表現をしたのは、テクニックというよりも情感の伝え方が自然で、心地よい演奏をしてくれるところが格段に優れているのです。初めて人前で歌うという日本の歌も、語りかけるような歌声で人々を魅了してくれました。

音楽を心から楽しめる余裕を持つ日が来ないと、本当に復興したとは言えないのかも知れませんが、つかの間の休息を大槌の町に届けられたと思います。



伊藤英さんの演奏

本業はプロのピアニスト。これがピアノからの音楽?というくらいに驚きの連続です。当日は2台のピアノを駆使して聴衆を沸かせてくれました。



中野和子さんの演奏

様々な音が混じりあう環境での演奏でしたが、その伸びやかな声でマイク無しの環境でも、人々の心に届く歌声を披露してくれました。



ステージを飾るお花は、キラリ商店街の「花文」さんからの提供です。毎度のことですが素敵にアレンジしてもらいました。右の写真は遠く、久慈市から来てくれた方々です。



今回、聞きにきてくださった方々は、大槌町での梅ちゃんプロジェクトに協力して貰えそうな方々も多く来てくれました。お会いするたびに、これからの大槌町をどうするか。と話は尽きない方たちばかりです。